

東北地方 1か月予報

(8月23日から9月22日までの天候見通し)

平成15年8月22日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

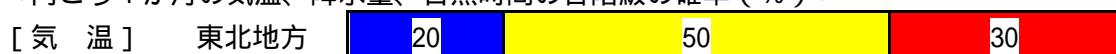
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は概ね周期的に変わり、高気圧に覆われ晴れて暑い日もあるでしょう。

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間ともに平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か低い、2週目は平年並、3~4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月23日(土) ~ 9月22日(月)

1週目 : 8月23日(土) ~ 8月29日(金)

2週目 : 8月30日(土) ~ 9月5日(金)

3~4週目 : 9月6日(土) ~ 9月19日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は8月29日

3か月予報: 8月25日(月) 14時00分

寒候期予報: 9月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	20.6	243.7	127.4	22.4	21.6	19.8
新庄	20.8	172.9	130.3	23.1	21.9	19.7
若松	21.7	142.1	149.8	24.1	23.0	20.6
深浦	20.5	183.6	165.9	22.4	21.5	19.6
青森	20.3	137.5	169.9	22.2	21.4	19.4
むつ	19.3	185.0	144.4	21.0	20.2	18.5
八戸	19.9	187.3	149.4	21.6	20.8	19.1
秋田	21.5	200.1	170.4	23.7	22.6	20.5
盛岡	20.0	189.4	130.2	22.3	21.1	18.9
宮古	19.9	237.0	131.6	21.7	20.8	19.0
酒田	22.0	206.4	167.8	24.1	23.1	21.0
山形	21.5	157.2	144.2	23.8	22.7	20.4
仙台	21.7	221.7	127.2	23.5	22.7	20.8
石巻	21.3	169.3	143.9	23.0	22.2	20.4
福島	22.4	175.9	125.2	24.5	23.5	21.3
白河	20.7	250.4	123.7	22.7	21.8	19.7
小名浜	22.5	197.4	155.7	23.9	23.3	21.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.4	85~115	94~106
東北日本海側	-0.6~+0.6	85~109	94~107
東北太平洋側	-0.4~+0.3	82~119	90~108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.7	-0.7~+0.7	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.7	-0.8~+0.8	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.5~+0.8	-0.7~+0.8	-0.5~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年8月22日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(8月23日~9月22日) :

天気は概ね周期的に変わり、高気圧に覆われ晴れて暑い日もあるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(8月23日~8月29日) :

明後日(24日)から25日にかけては気圧の谷や前線の影響で天気の崩れる所があるでしょう。
その後は曇りの日が多いですが、東北北部では期間の中頃晴れる所がある見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2週目(8月30日~9月5日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(9月6日~9月19日) :

天気は周期的に変わり、高気圧に覆われ晴れて暑い日もあるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

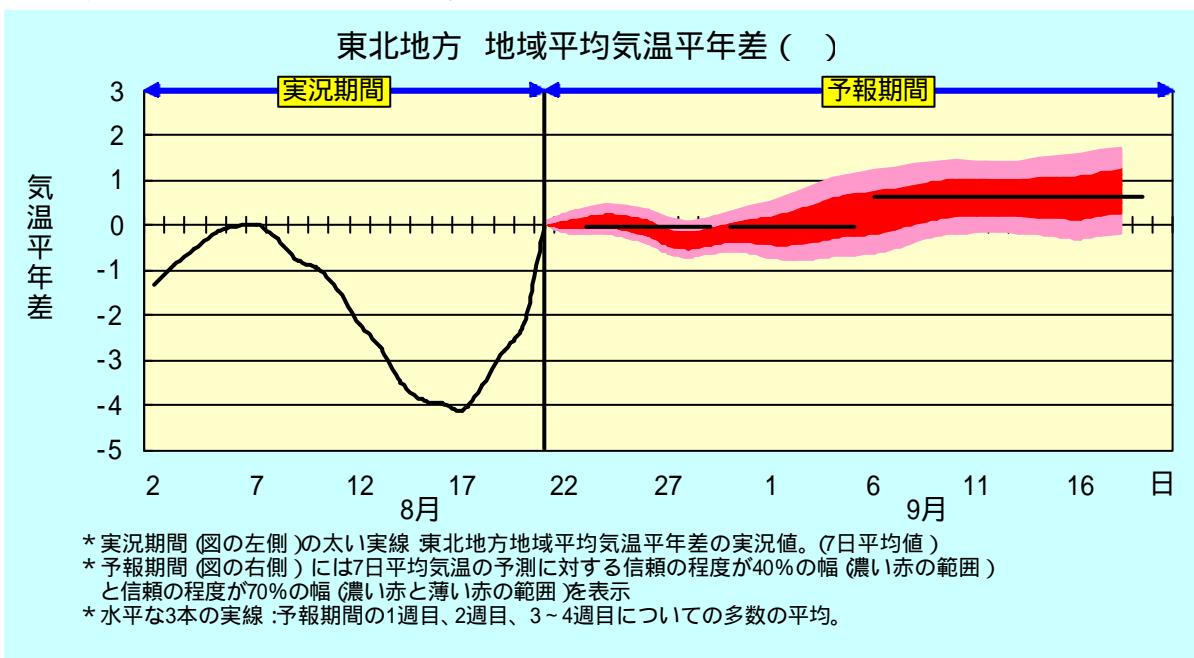
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.1日	3.9日	3.8日	6.4日
東北太平洋側	12.2日	3.5日	3.2日	5.5日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目は「平年並」、3~4週目は「高い」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「平年並か低い」、3~4週目を「平年並か高い」に変更する他は数値予報通りとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

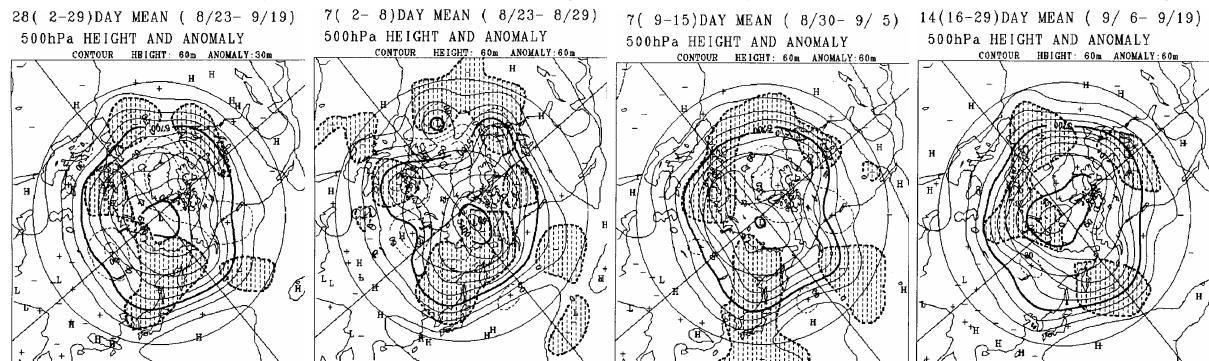


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本海に負偏差広がり、北日本に一部がかかる。日本の南の太平洋高気圧は平年より強い。偏西風の流れは東西流が卓越し、天気は概ね周期的に変わる。

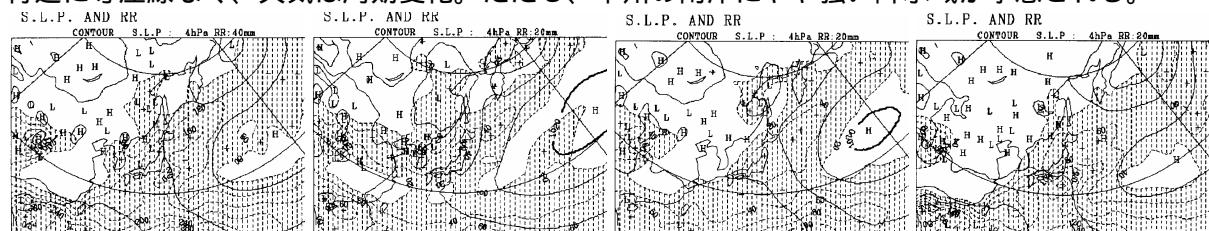
週別に見ると、1週目は太平洋高気圧が西に張り出しが、北日本は負偏差。2週目は太平洋高気圧が日本の南で割れ、日本付近は広く負偏差。3~4週目は、日本付近広く正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧が日本付近に張り出しが、北海道の東も高圧部。日本付近は広く降水域に覆われる。

週別に見ると、1週目は太平洋高気圧が日本の南に張り出しが、北日本には前線に対応する降水域がかかる。2週目は太平洋高気圧が東に後退し、日本付近は谷場となる。3~4週目は、日本付近に等圧線なく、天気は周期変化。ただし、本州の南岸にやや強い降水域が予想される。



4. 最近1週間(8月15日~8月21日)の天候の経過

この期間、オホーツク海高気圧が北日本に張り出し、前線は本州付近に停滞した。このため、曇りや雨の日が続き、福島県では17日と18日に土砂崩れにより2名が死亡した。

平均気温はかなり低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。日照時間はかなり少ない。

